

平成9年度全国標準積算資料説明会報告

積算委員会

平成9年度全国標準積算資料説明会を平成9年5月8日、9日の両日にわたってそれぞれ秋田県、山形県で開催致しました。

5月8日は、秋田会場「秋田文化会館」において午後1時から午後4時まで3時間にわたって行われました。当日は、朝から小雨のパラツク寒い日で、受講者の出足が心配されましたが、開会時間が近くなるにつれて出足好調となり主催者を安心させました。

説明会に先立ち東北地質業協会の永井理事長からつぎのような挨拶がありました。「管内6県を毎年2県ずつに分けてこの説明会を行っているが、回を重ねるごとにその成果を上げている。開催時期について例年2～3月に実施しているが、冬期ということと年度末に重なるということで、今年度は5月に設定したものである。ただ、この時期も会計検査にかかる場合が多いので、更に見直しが必要と思われる。今日は、3時間の長丁場であるが、説明会の内容を良く理解してこれからの業務に役立てて頂きたいと思います。」

次に、秋田県地質調査業協会の奥山会長より「雨の中沢山の方々に来ていただいて本当にありがとうございました。近年地質調査は、いろいろな分野で応用されるようになった。従って調査手法も多岐にわたり積算も複雑になるが、この積算資料を参考に歩掛りの適正な資料活用を図ってほしい。」との挨拶がありました。

積算説明会は、全地連の矢島専務理事を講師としてお招きし、赤本については平成6年度版、青本については平成9年度版を使用して説明を行いました。赤本（調査編）については来年度改定することを前提に、主に地質調査業の社会的位置づけ、調査業のもつ特殊性、工事との関わり等について説明の後、コンサルタント業務、ボーリングの歩掛り、仮設等について詳細な説明がありました。又、青本（工事編）については、平成9年度版として改定された。改定の目玉としては、体裁を大きくしてA4版にしたこと、SI単位を併記したこと、カラー写真を多用し見やすくしたこと等である。内容については、歩掛りについては基本的に公表されているものを掲載していること、工種については、モノレールを全面改訂し更に小運搬も実状にあった見直しを行ったこと等について詳細な説明が行われました。尚、全地連では6月からホームページを開設するので、是非皆様の利用を

待っていますのとPRをされ盛会裏に説明会を終了することができました。

翌5月9日は、山形会場「山形国際交流プラザ」で説明会が行われた。前日の天気とうってかわって抜けるような青空で、受講者の出足も好調で定刻にはほぼ満席となった。説明会の冒頭に、東北地質業協会永井理事長、ついで山形県さく井地質業協会桂木理事長からそれぞれ挨拶を頂きました。その後、全地連の矢島専務理事の熱のこもった説明が3時間にも及び秋田県同様盛会裏に終了することができました。

これも、地元秋田県、山形県両県の協会会員の尽力があってこそと思っております。

なお、赤本については、平成10年度改訂歩掛版を平成10年2月に発行する予定で全地連で作業を進めております。

